

前田・植村・小牧・鹿大丸JVで着工

鹿児島共栄火災ビル新築地鎮祭

共栄火災海上

共栄火災海上(株)は鹿児島市に「(仮称)鹿児島共栄火災ビル」の新築を計画、このほど施工業者を前田建設工業・植村組・小牧建設・鹿大丸建設JVに決め、16日、鹿児島市の現地で地鎮祭を行った。

設計は全国農協建設工業・植村組・小牧建設・鹿大丸建設JV共栄火災鹿児島支所長らが地鎮の儀を行った後、吉永重治農協福祉事業(株)代表取締役専務、佐藤英治前田建設工業(株)取締役常務執行役員らが玉串



刈り初めの儀を行う大矢常務(上)、乾杯し無事故を祈る出席者＝鹿児島市の現地で

を捧げ、工事の無事故無災害を祈った。

直会では、大矢常務が「同社は、これまで2代続けて鹿児島出身の方が社長を務め、鹿児島とはつながりが強いと感じています。本日祈願祭を実施し、工事が進み完成することで、昭和49年に建設された旧社屋から新しい事務所に移りますが、施工を担当する企業の皆さんも安全第一で施工をお願いいたします」と述べ、青木常務や佐藤取締役が「無事故無災害で引き渡せるように努めたい」、「JVが力を合わせ完成を目指したい」とそれぞれ挨拶した。このあと、本田耕治鹿児島ダイハツ販売(株)社長の乾杯の音頭で開宴した。

同施設は、鹿児島市中央町29-1、2、3の敷地にS造3階一部4階建延べ1517・55平方メートルの事務所を建設する。工期は11月末。

都市景観の向上に期待

鹿児島市



完成を祝い、テープカットをする関係者＝鹿児島市の現地で

鹿児島市営山之口及び二本松自転車等駐車場がこのほど完成し、16日に同市山之口町で開所式が開かれ、行政や町内会の関係者がテープカットをして施設のオープンをした。

祝った。

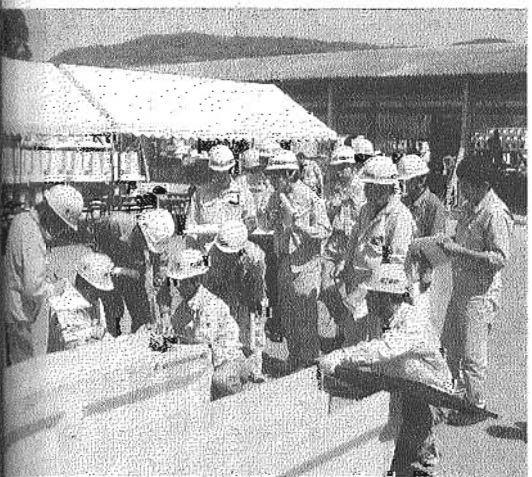
山之口駐車場で行われた式典では、赤崎義則鹿児島市長が「駐輪場整備により、行政や町内会の関係者がテープカットをして施設のオープンをした。

自転車等駐車場開所式

山之口・二本松

寸法・曲強度中心に

シートックが製品集中検査



検査に興味深く見守る参加者＝枕崎市の同本社で

製品集中検査は、同社が製造するコンクリート2次製品の主力・新製品を、所轄官庁の担当者が一緒に検査することで、発注者側にも強度・耐久性などを理解してもらうことを目的に、今年から実施する。

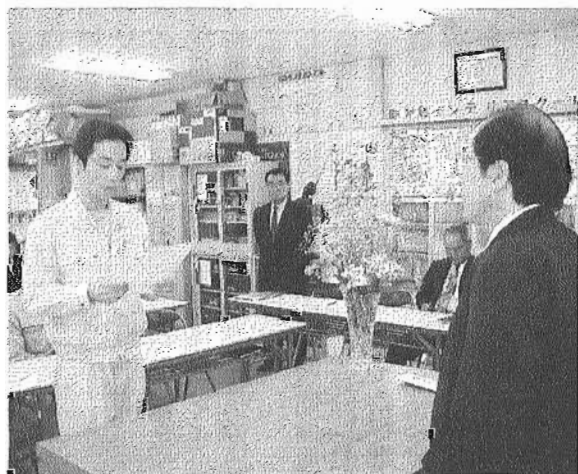
検査を前に森社長が「同業他社との差別化と、品質の製品を提供するべく製品集中検査を始めて、今回で2回目となるが、検査の基本は直に製品を見て触ってもらい、一緒に立ち会っていただくことで製品を理解してもらうことが一番だと考えている。また、当社としては製品集中検査をイベント的なものと位置付け、これからも継続していきたいと考えているので、ぜひとも今日は楽しく検査をしていただきたい」と挨拶した。

続いて、花立廣美販売本部長が概要説明をして、検査に入った。今回の検査は、V側溝などの主力製品に併せ、新たにラインナップされたMSR側溝など7品目(蓋板関係を含め約14アイテム)を中心に検査を実施。寸法・曲げ強度を中心に検査が順次行われ、各役所の担当者らも同社の社員に質問する姿が会場のいたるところで見受けられ、事業所が主体となって実施する自主検査に対する関心の高さが伺えた。

また、当日の会場入り口には同社が取り扱う他の製品も多数展示され、機械的でありながら斬新かつ独創的なデザイン同社の製品群に、参加者らの注目が集まっていた。

鹿児島インターアスク5人が技能士目指す

5人が技能士目指す



誓いの言葉を力強く述べる南さん＝鹿児島市の同校で

鹿児島インターアスク(鹿屋市)は16日、鹿児島市玉里町の同校で15年度第12期生入校式を行い、新入生5人が入校し、高度な知識と技能習得を目指し新たなスタートを切った。

式では新入生紹介の後、田中校長が「今年度から前期・後期に分けた新システムで指導することになった。皆さんは、各事業所の理解のもと、知識と技能、職業人としての人格育成などを学ぶ機会を得たことに感謝し、途中で挫折することなく2年間の課程をやり遂げていただきたい」と式辞。安部武典県内装飾協同組合理事長も「初心を忘れずに取り組み、技能習得を目指して最後まで頑張ってください」と励ましの言葉を寄せた。

続いて、来賓の山下進県商工観光労働部労働政策課長らが祝辞を寄せた後、入校生を代表して南啓一郎さんが誓いの言葉を力強く述べた。

新入生は次の通り。

小村直樹(南インターアコムラ) 崎野雄太(南インターアコムラ) 田原春昭人(南インターアコムラ) 中村誠(南日本家具工業(株)) 南啓一郎(南新和インターアコムラ)

シートック(森政広)は16日、枕崎市の同本社で、同社敷地内で伊集院土木事務所、加世田耕地事務所をはじめ、指宿市、坊津町、須賀川町、吹上町など近隣市町の担当者ら約15人の立ち会いのもとで第2回製品集中検査を実施した。

製品集中検査は、同社が製造するコンクリート2次製品の主力・新製品を、所轄官庁の担当者が一緒に検査することで、発注者側にも強度・耐久性などを理解してもらうことを目的に、今年から実施する。